D01330301H

ESOTERIC

N-03T

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

取扱説明書は、ESOTERIC ウェブサイト (https://www.esoteric.jp/jp/) からダウンロードすることができます。

本機を使用するには、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。

目　次

注意

本機のデジタル出力は、選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

最初にデジタル出力設定 (USB、XLR、RCA) をしてからご使用ください。

設定方法は、14 ページの「設定モード」と 15 ページの「出力端子設定」をお読みください。



The MQA logo is a trade mark of MQA Limited.



Being Roon Ready means that ESOTERIC uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

"DSD" is a registered trademark.

Apple is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

App Store is a service mark of Apple Inc.

Android is a trademark of Google Inc.

Google Play は、Google Inc. の商標です。

Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは、当社ホームページ内の製品ページに記載します。
https://www.esoteric.jp/jp/product/n-03t/download

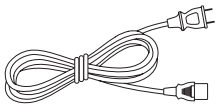
お使いになる前に 4
　付属品の確認 4
　設置について 4
お手入れ 4
使用上の注意 5
　電源の極性について 5
安全にお使いいただくために 6
接 続 8
ネットワークの接続 10
各部の名称 11
ネットワークトランスポート機能を使用する 12
MQA (Master Quality Authenticated) 13
基本操作 13
　電源オン / オフ 13
設定モード 14
　設定モード時の表示と内容 14
　クロックモード設定 15
　出力端子設定 15
　DSD 出力設定 15
　MQA 出力設定 15
　ネットワーク表示設定 15
　自動ディスプレー消灯設定 16
　オート・パワー・セーブ機能設定 16
　ETHERNET 端子の LED 設定 16
　ディマー設定 16
　ファームウェアのバージョン表示 17
　ボリューム調整設定 17
　RAAT モード 17
困ったときは 18
　一般 18
　クロックシンク 18
　出荷時の状態に戻す 18
仕　様 19
寸法図 20
保証とアフターサービス 21

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (22 ページに記載) にご連絡ください。

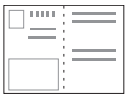
電源コード× 1



フェルト× 3



ご愛用者カード× 1

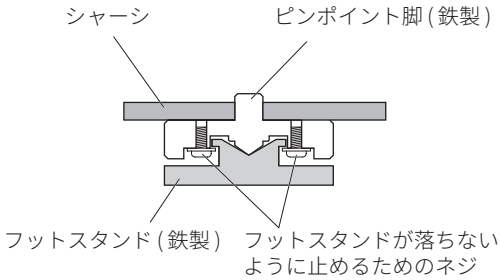


取扱説明書 (本書) × 1

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上の注意

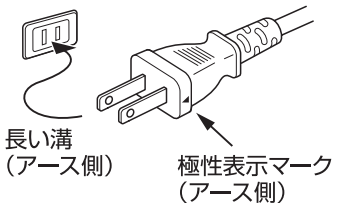
- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。

- ご使用になったカセットテープ、CD、SD カード、USB フラッシュメモリー等の記録媒体（以下「媒体」といいます）が原因で本機が故障した場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。
  ※長年ご使用になっていない、または、すでに長時間使用された媒体、カビ・汚れ・ベタつき・折れ・捻じれなどが見られる媒体のご使用は、避けてください。
- 媒体に起因して生じた製品または媒体の破損、テープの巻き込み、データの喪失等につきましても、弊社では一切の責任を負いかねます。また、その他の逸失利益、間接的・派生的な損害、その他特殊な事情から生じた損害につきましても、同様です。
  ※万が一の場合に備えて、あらかじめデータのバックアップの作成等、お客様にてデータの保存や保護措置を講じられることをお勧めいたします。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク (▲) は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

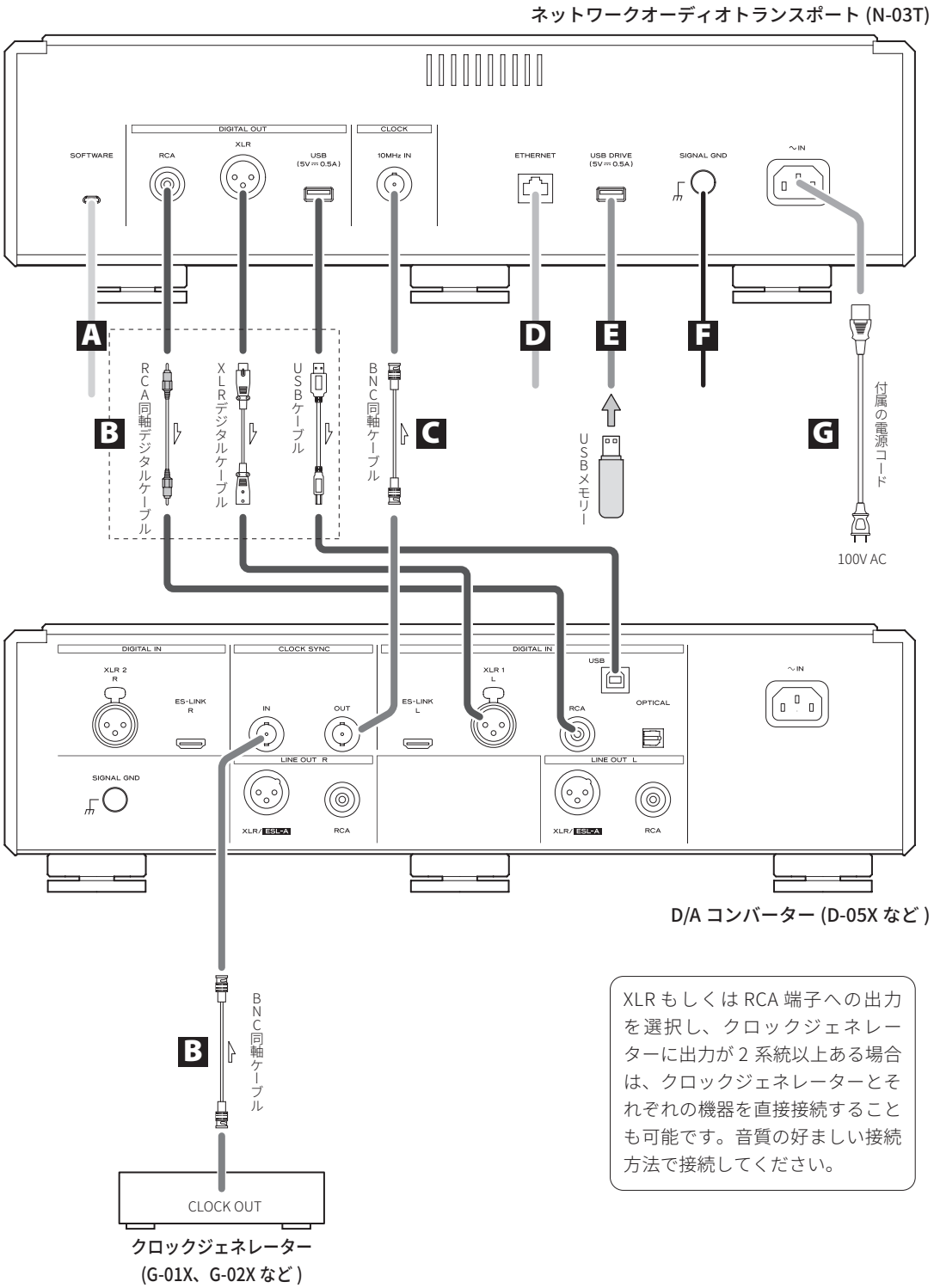
 **警告**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 **電源プラグをコンセントから抜く**	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (22 ページに記載) に修理をご依頼ください。
 **禁止**	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (22 ページに記載) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 **指示**	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 **禁止**	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 **分解禁止**	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (22 ページに記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ 注意	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は約 17kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (22 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

接 続



XLR もしくは RCA 端子への出力を選択し、クロックジェネレーターに出力が 2 系統以上ある場合は、クロックジェネレーターとそれぞれの機器を直接接続することも可能です。音質の好ましい接続方法で接続してください。

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

B デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUT)

デジタル音声を出力します。D/A コンバーター (D-05X など) や SACD プレーヤーなどのデジタル入力端子と接続してください。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

USB : USB ケーブル
XLR : XLR デジタルケーブル
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル

- デジタル入力機器との接続には、上記のどれか一系統をお使いください。

接続した端子に合わせて、出力設定を行ってください。
(15 ページ)

C 10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN)

XLR 端子もしくは RCA 端子から出力する場合、10MHz の同期信号 (クロック) を入力できます。(15 ページ)
マスタークロックジェネレーターを使用する場合は、マスタークロックジェネレーターのクロック出力端子と本機のクロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) を接続してください。

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

D ETHERNET 端子

LAN ケーブルを使って、ネットワークに接続してください。(10 ページ)

接続には市販の LAN ケーブルをお使いください。

E USB ドライブ端子 (USB DRIVE)

音楽ファイルが保存されている USB メモリーを接続してください。

- 供給電流は最大 0.5A です。
- この端子は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生する場合にのみ使用できます。

F アース端子 (SIGNAL GND)

アース端子を D/A コンバーターやアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

G 電源インレット (～ IN)

電源インレットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

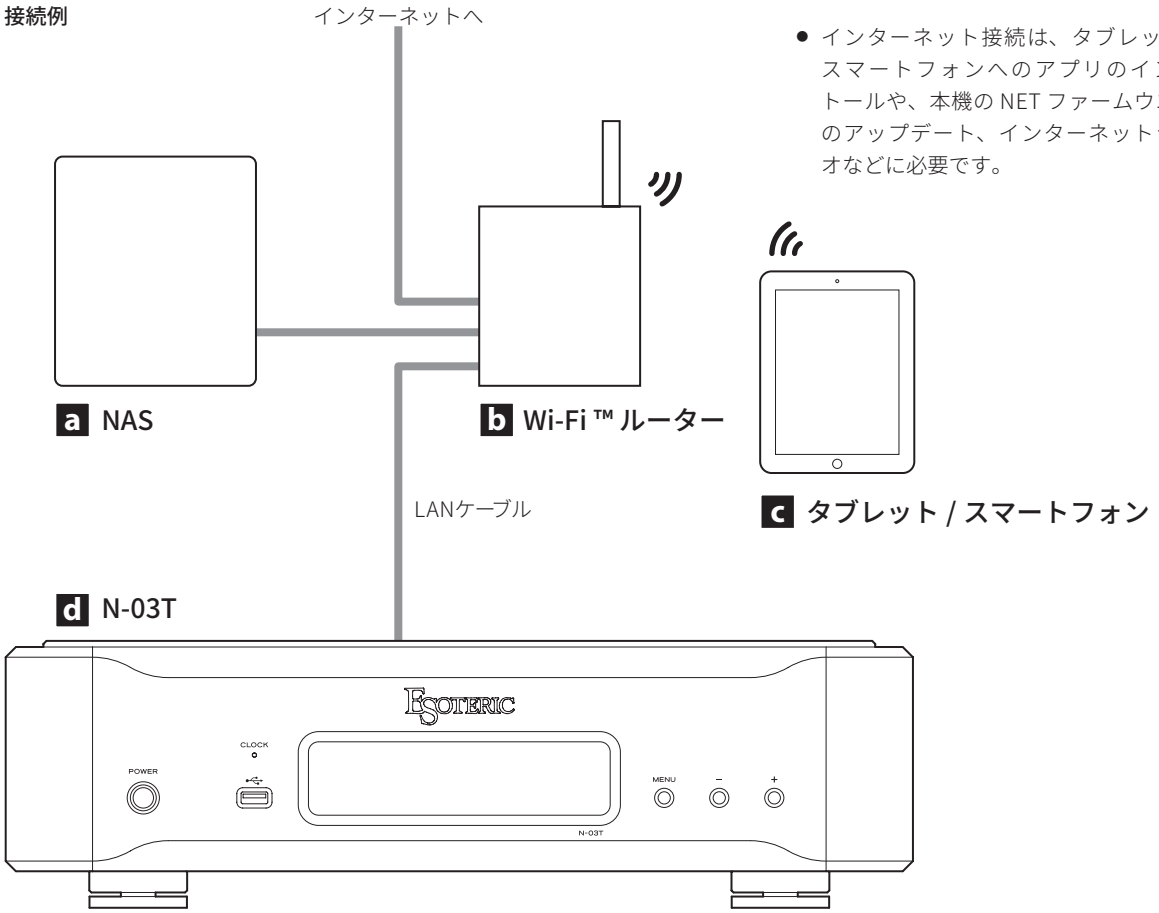
- 本機の電源インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ **エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。**

BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50Ω または 75Ω のものをお使いください。

ネットワークの接続

接続例



- インターネット接続は、タブレット / スマートフォンへのアプリのインストールや、本機の NET ファームウエアのアップデート、インターネットラジオなどに必要です。

a NAS(ネットワークアタッチトストレージ)

音楽ファイルを保存します。
メディアサーバーとして UPnP サーバーが動作していることが必要です。

b Wi-Fi ™ ルーター

タブレット / スマートフォンを Wi-Fi 経由で本機と NAS に接続します。

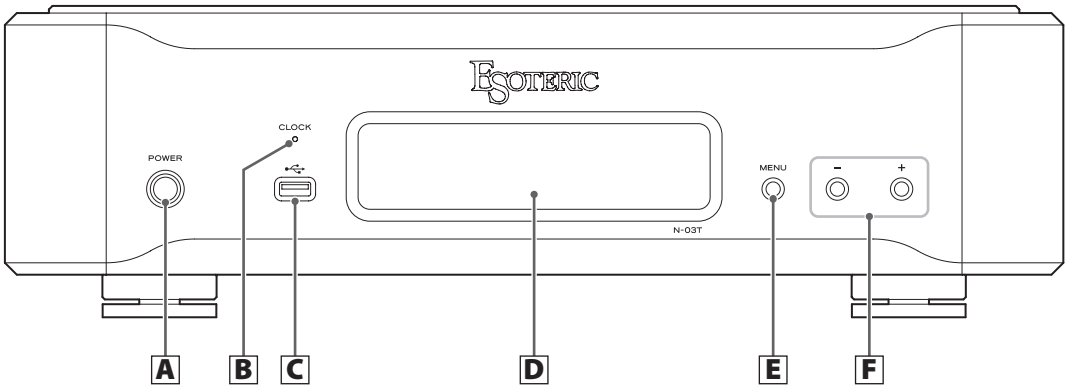
c タブレット / スマートフォン

アプリをインストールして、本機をコントロールします。

d N-03T

本機

各部の名称



A 電源ボタン (POWER)

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く点灯します。
電源がオフのときは、消灯します。
本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

B クロックインジケーター (CLOCK)

クロックシンクの状態を表示します。
クロックシンクの設定を「IN」にすると点滅を始め、クロックを感知して同期すると点灯に変わります。

- 出力端子設定が「USB」のときは消灯します。

C USB ドライブ端子 ( )

音楽ファイルが保存されている USB メモリーを接続してください。

- この端子は、接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生する場合にのみ使用できます。

D ディスプレー

再生時間やサンプリング周波数などの情報を表示します。

E メニューボタン (MENU)

設定モードに入ります。(14 ページ)

F 選択項目変更ボタン (＋ / −)

設定モード時のパラメーター変更に使用します。

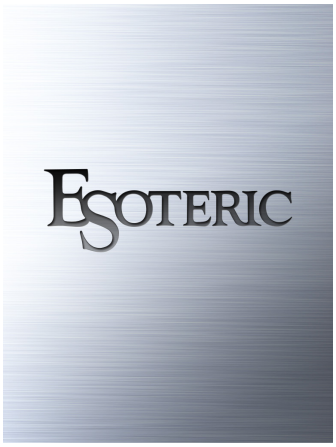
- 本機で音量の変更は出来ません。

+ ボタン
再生時間とサンプリング周波数表示を切り換えます。

ネットワークトランスポート機能を使用する

本機のネットワークトランスポート機能は、OpenHome、Roon Ready、Spotify Connect、Tidal Connect などに対応しています。それぞれのサービスに対応したアプリを使うことで、楽曲の再生を行うことができます。

- iOS、Android に対応した OpenHome コントロールアプリ「ESOTERIC Sound Stream」をご利用いただけます。App Store または Google Play ストアにて「ESOTERIC Sound Stream」で検索してください。



- ESOTERIC Sound Stream 取扱説明書 (**https://www.esoteric.jp/jp/product/sound_stream/download**) をご覧になり、プレイリストを作成して再生してください。
- ETHERNET 端子、USB ドライブ端子 (⇜、USB DRIVE)、を使用する場合は、専用アプリ (無償) をインストールしたタブレット / スマートフォンを同一ネットワークに接続する必要があります。
- ネットワークモジュールのファームウェアは ESOTERIC Sound Stream を介して更新されます。定期的に ESOTERIC Sound Stream で本機を選択し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。
  ファームウェアに更新があった場合、自動的に更新を促すポップアップが表示されます。

OpenHome http://openhome.org/

本機の中にプレイリストデータを持ち、NAS や本機に接続された USB メモリーに格納された楽曲を OpenHome 対応のコントロールアプリ（ESOTERIC Sound Stream など）を使用し、プレイリストに登録することで、楽曲を再生することができます。 ESOTERIC Sound Stream を使用すると、Tidal や Qobuz などのストリーミングサービスからもお好みの楽曲をプレイリストに登録することができます。OpenHome では、プレイリストが再生デバイス側に格納されているため、プレイリストへの楽曲の登録後は、コントロールアプリを終了させてもプレイリストの曲順通りの再生が可能です。

Roon Ready https://roonlabs.com/

本機は Roon Labs からリリースされている音楽再生・管理ソフト Roon での楽曲再生に対応しています。 Roon システムは 3 つの要素「Control（操作部）」、「Core（中核部）」、「Output（出力部）」から構成されています。 本機は、Roon 独自の高音質オーディオ伝送フォーマット RAAT（Roon Advanced Audio Transport）に対応したオーディオ出力部の役割を担います。
また本機では、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うため RAAT モードを選択できます。通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など）を停止させ、Roon での楽曲再生に特化したモードです。

- RAAT モードの設定方法は、17 ページを参照ください。
- RAAT モード時は、Roon アプリからのみコントロールが可能となります。

Spotify Connect https://www.spotify.com/
Tidal Connect https://tidal.com/

ストリーミング音楽サービス Spotify や Tidal の専用アプリから本機を出力先として選択することができます。 楽曲選択などの操作は、それぞれのサービスに最適化された専用アプリから行うことができ、スマートフォンなどを使って手軽に本機を使った楽曲再生が可能です。
※ 詳しい操作方法は、それぞれのサービスのアプリを参照してください。

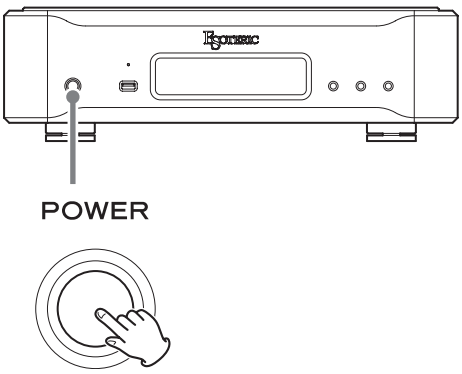
MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。
詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。
N-03T は MQA に対応しており、MQA オーディオ・ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。

「MQA」または「MQA.」の表示は、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードし、再生していることを示し、音声が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。「MQA.」は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。

基本操作

電源オン / オフ

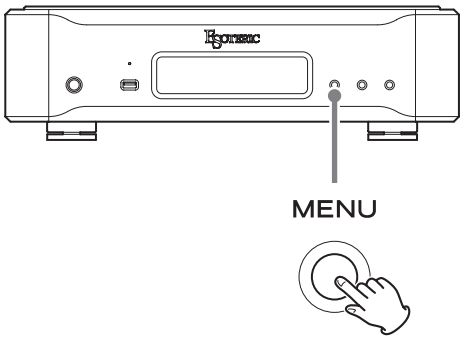


電源ボタン (POWER) を押すたびに、電源のオン / オフが切り換わります。オンのときは、ボタンの周囲が青く点灯し、本体のディスプレーが点灯します。

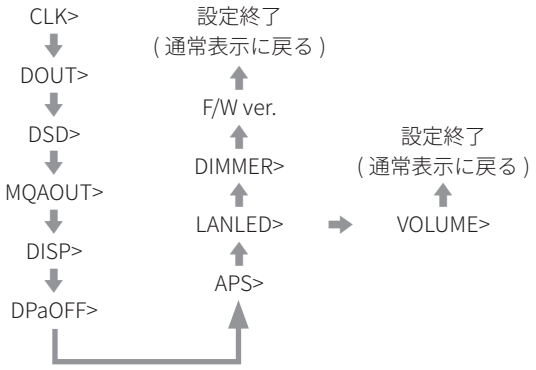
- 電源オン後、アプリを使って再生操作をしてください。
- 本機を使用するときは、接続してある機器 (D/A コンバーター、アンプなど) の電源もオンにしてください。アンプの電源は最後に入れてください。

設定モード

1 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

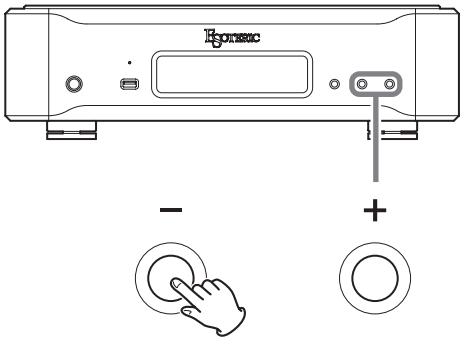


メニューボタン (MENU) を押すたびに、以下のようにディスプレーの表示が変わります。



- VOLUME> は LANLED> 表示中に選択項目変更ボタン (–) を長押しすると表示します。設定後は、MENU ボタンを押して設定を終了してください。
- 10 秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

2 選択項目変更ボタン (＋ / –) を使って、設定を変更する。



各設定内容については、14 ～ 16 ページをお読みください。

- 10 秒以上放置すると、設定を終了して通常の表示に戻ります。
- 設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

設定モード時の表示と内容

CLK ＞＊＊＊
クロックモード設定

DOUT> ＊＊＊
出力端子設定

DSD> ＊＊＊
DSD 出力設定

MQAOUT> ＊＊＊
MQA 出力設定

DISP> ＊＊＊
ネットワーク表示設定

DPaOFF ＞＊＊＊
自動ディスプレー消灯設定

APS ＞＊＊＊
オート・パワー・セーブ機能設定

LANLED ＞＊＊＊
ETHERNET 端子の LED 設定

DIMMER> ＊＊＊
ディマー設定

F/W ver.
ファームウェアバージョン表示

VOLUME> ＊＊＊
ボリューム調整設定

設定モード (続き)

クロックモード設定

CLK ＞＊＊＊

- 出力端子設定が「XLR」、「RCA」のときのみ有効です。
- 出力端子設定が「USB」のときは、接続先の D/A コンバーター側でクロック制御するので、本機に外部クロックを接続する必要はありません。
- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
内蔵の水晶発振器をマスタークロックとして動作します。

IN
外部クロックに内蔵水晶発振器を同期させて動作します。

出力端子設定

DOUT> ＊＊＊

- 出荷時は USB に設定されています。

USB
USB 端子からデジタル信号を出力します。

XLR
XLR 端子からデジタル信号を出力します。

RCA
RCA 端子からデジタル信号を出力します。

DSD 出力設定

DSD> ＊＊＊

- 出力端子設定が「XLR」、「RCA」のときのみ有効です。
- 出荷時は「DoP」に設定されています。

XLR または RCA を使って D/A コンバーターと接続する場合の DSD データの出力フォーマットを設定します。

DoP
DSD データを DoP データで出力します。

- 接続する D/A コンバーターが DoP 対応の場合、「DoP」に設定すると DSD で再生できます。

PCM
DSD データを PCM データに変換し出力します。

- 接続する D/A コンバーターが DoP 非対応の場合、「PCM」に設定すると PCM に変換して再生できます。

MQA 出力設定

MQAOUT> ＊＊＊

- 出荷時は「ON」に設定されています。

ON
本機で MQA ファイルをデコードして出力します。

PTH
MQA ファイルをスルー出力します。

- 接続する D/A コンバーターが MQA デコード対応の場合、「PTH」に設定してください。

OFF
MQA ファイルを PCM のまま出力します。

ネットワーク表示設定

DISP> ＊＊＊

- 出荷時は「Fs」に設定されています。

Fs
入力されているサンプリング周波数を表示します。
入力信号がないときや入力信号にロックできないときは、入力サンプリング周波数は表示されません。

TIME
再生中の曲の経過時間を表示します。

設定モード (続き)

自動ディスプレー消灯設定

DPaOFF ＞＊＊＊

● 出荷時は、「ON」に設定されています。

一定時間経過後、ディスプレーを自動的に消灯する設定ができます。

ON

10 分間状態に変化がない場合にディスプレーを自動で消灯します。

OFF

自動消灯を行いませんが、10 分間表示に変化がない場合に、表示の明るさを DIMMER>1 と同じ明るさにし、表示管の消耗を抑えます。

● 表示管は、同じ表示状態で長時間放置すると、輝度ムラなどの原因となりますので、自動消灯設定を「ON」にすることをお勧めいたします。

オート・パワー・セーブ機能設定

APS ＞＊＊＊

● 出荷時は、「30m」に設定されています。

停止の状態が設定された時間続くと、電源を自動的にオフします。

30m

30 分

60m

60 分

90m

90 分

120m

120 分

OFF

オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

ETHERNET 端子の LED 設定

LANLED ＞＊＊＊

● 出荷時は ON に設定されています。

● OFF に設定しても、本機の電源をオンにしてから内部の初期化が終わるまで (「WAIT...」表示中) や LAN ケーブルを挿した直後は LED が点滅します。

ON

ETHERNET 端子の LED の点灯 / 点滅を有効にします。

OFF

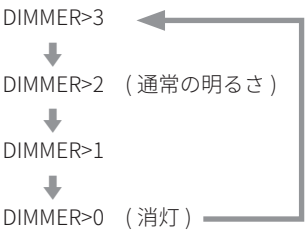
再生動作中の ETHERNET 端子の LED を消灯します。

ディマー設定

DIMMER> ＊＊＊

● 出荷時は、「2」に設定されています。

本体のディスプレーの明るさを調節できます。



● 本機はエソテリック製品付属のリモコンの DIMMER ボタンでも操作できます。

● DIMMER>1、DIMMER>0 が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常の明るさ (DIMMER>2) で表示されます。

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中に選択項目変更ボタン (＋) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

I/F ****

I/F ファームウエア

NET ****

ネットワークファームウェア

ボリューム調整設定

VOLUME> ＊＊＊

- 出荷時は、「OFF」に設定されています。

OFF (推奨)

アプリの音量調整を無効化します。
デジタル信号はボリューム調整ブロックを通らず、そのまま出力されます。

ON

アプリの音量調整を有効化します。
デジタル領域で音量調整を行うため、DSD データは PCM データに変換されます。

- DSD 11.2 / 22.5MHz の音楽ファイルは再生できません。
- VOLUME ON のときは、本体のディスプレー左上部に V マークが表示されます。

RAAT モード

- I/F ファームウェア v3.00 以降、NET ファームウェア 150 以降でこの機能に対応しています。

RAAT（Roon Advanced Audio Transport）のみで動作する RAAT モードを選択することができます。
RAAT モードでは、Roon での音楽再生を最高のパフォーマンスで行うために、通常モードで対応している Roon 以外のサービス（OpenHome、Spotify Connect、Tidal Connect など）を停止します。
操作は Roon コントロールアプリのみ可能となります。

RAAT モードの設定方法

1 設定のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。

2 本体の選択項目変更ボタン (-) を長押しする。

NETM ＞ RAAT が点滅します。

3 本体の選択項目変更ボタン (+) を長押しする。

RAAT モードに設定されて、本機のネットワークプレーヤープログラムが自動的に再起動します。再起動完了後は、Roon のみで音楽再生できる状態になります。

- RAAT モードで動作しているときは、本体のディスプレーに RAAT マークが表示されます。
- RAAT モードでは、本機は ESOTERIC Sound Stream などの OpenHome コントロールアプリや Spotify、Tidal などのアプリから認識されません。

RAAT モードから通常（NORMAL）モードに戻す方法

1 設定のファームウェアのバージョン表示 (F/W ver.) を選択して、NET を表示させる。

2 本体の選択項目変更ボタン (-) を長押しする。

NETM ＞ NORM が点滅します。

3 本体の選択項目変更ボタン (+) を長押しする。

RAAT モードが解除されて通常モードに戻り、本機のネットワークプレーヤープログラムが自動的に再起動します。再起動完了後は、OpenHome などの各サービスを使用可能な状態になります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (22 ページに記載) にご連絡ください。

一般

電源が入らない。
➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
➡ 電源コードと本機の接続を確認してください。

電源が自動的にオフになる。
➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がオフになっています。
本体の電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(16 ページ)

ボタンを押しても反応しない。
➡ 続けてボタンを押すと、機械側が対応できないことがあります。ボタンを押すときは、機械が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。
➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。
➡ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。
➡ アンプなどの音量を調節してください。
➡ 一時停止中は音が出ません。アプリを操作して通常の再生に戻してください。

クロックシンク

クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない。
➡ クロックシンクを使用しない時は、クロックモード設定で「OFF」を選んでください。
➡ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロックジェネレーターのクロック出力の周波数が 10MHz であることを確認してください。また、10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る。
➡ クロックモード時にスピーカーから「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る場合は、接続している機器がクロックモードになっていない可能性があります。10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) の接続状態や、接続している機器のクロックモード設定を確認してください。

(正常に) 再生できないオーディオファイルがある。
➡ メディアサーバー (NAS) によってそれぞれ対応ファイルの種類が異なります。メディアサーバー (NAS) の仕様も併せてご確認ください。

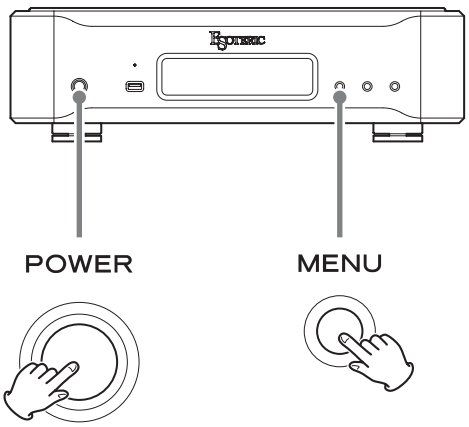
音が途切れ途切れに再生される。
➡ 44.1kHz などの低いビットレートや MP3 などの不可逆圧縮のファイルでは正常で、384kHz などの高いビットレートや FLAC などの可逆圧縮ファイルで音が途切れる場合、ETHERNET の速度が不足している可能性があります。
オーディオデータは、NAS からルーターを経て本機へと伝送されますので、NAS とルーター、ルーターと本機が、有線 LAN ケーブルで接続されているほうが有利です。

サンプリング周波数 (DSD 22M) が表示されない。
➡ ファームウェアを V1.03 以降にアップデートしてください。

出荷時の状態に戻す

設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。



本体のメニューボタン (MENU) を押しながら電源ボタン (POWER) を押す。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

ネットワーク部

対応ファイルフォーマット
- PCM ロスレス ..... FLAC、ALAC、WAV、AIFF、MQA
- DSD ロスレス..... DSF、DSDIFF（DFF)、DoP
- 圧縮オーディオ..... MP3、AAC

ETHERNET 端子 1
(1000BASE-T)
USB ドライブ端子 2
USB2.0 以上推奨
- 対応ファイルシステム ..... FAT32、exFAT または NTFS
シングルパーティション
- 最大供給電流..... 0.5 A

対応サンプリング周波数
- PCM ..... 44.1 ～ 384kHz、
16 bit、24 bit、32 bit
- DSD ..... 2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz

デジタル出力

USB 端子 (USB2.0 準拠) ..... 1 系統
XLR 端子 ..... 1 系統
- 出力レベル..... 3Vp-p (110 Ω 負荷時)

RCA 端子..... 1 系統
- 出力レベル..... 0.5 Vp-p (75 Ω 負荷時)

● XLR 端子、RCA 端子からの出力は、下記が上限となります。
- PCM ..... 44.1 ～ 192kHz、
16 bit、24 bit
- DSD ..... 2.8MHz (DoP)

クロック入力

BNC 端子..... 1
入力インピーダンス ..... 50 Ω
入力可能周波数..... 10MHz (± 10ppm)
入力レベル
- 矩形波 ..... TTL レベル相当
- サイン波 ..... 0 .5 ～ 1 .0Vrms

一般

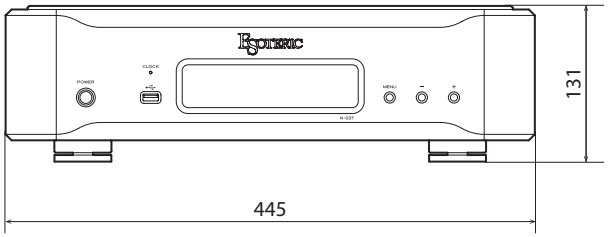
電源 ..... 100V AC 50/60Hz
消費電力 31W
外形寸法 ..... 445mm × 131mm × 360mm
(WxHxD、突起部含む)
質量 17kg
許容動作温度..... ＋ 5°C～＋ 35°C
許容動作湿度..... 5%～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度..... − 20°C～＋ 55°C

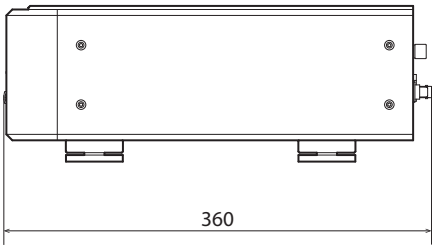
付属品

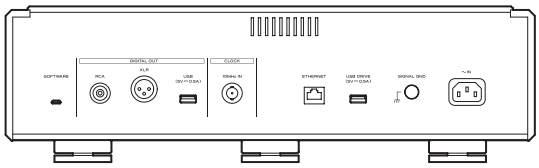
電源コード× 1
フェルト× 3
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

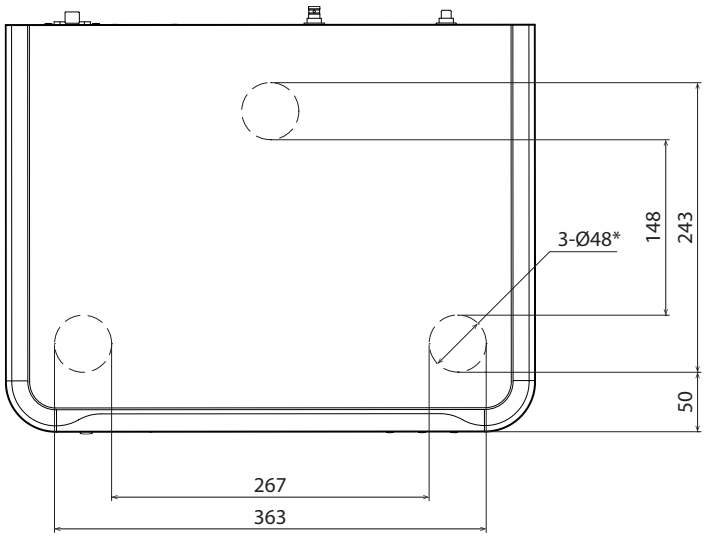
寸法図







フット配置図



単位 mm

* 直径 48mm フット× 3

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 5 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、AV お客様相談室もしくはティアック修理センター (22 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

18 ページの「 困ったときは 」に従って調べても、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (22 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：ネットワークオーディオトランスポート
N-03T
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ティアック株式会社
〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47
https://www.esoteric.jp/jp/
ESOTERIC ウェブサイト ▶

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

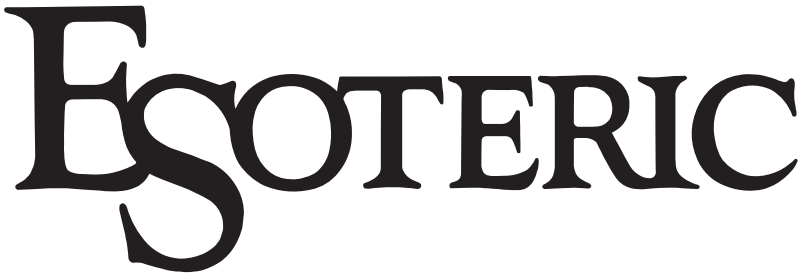
04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



ティアック株式会社

PRINTED IN JAPAN 0125 MA-2449J